

令和6年度スポーツ庁長官賞争奪
日本生命杯
第4回全日本少年少女空手道選抜大会

実施要項 version 6-1



Version 5 より 1P の受付方法、競技日程、黄色網掛け部分の変更致しました。



令和7年2月14日（金）～16日（日）

横浜 BUNTAI

令和6年度スポーツ庁長官賞争奪 日本生命杯 第4回 全日本少年少女空手道選抜大会実施要項

- 1 大会名 令和6年度 スポーツ庁長官賞争奪 日本生命杯 第4回全日本少年少女空手道選抜大会
- 2 主催 公益財団法人 全日本空手道連盟
- 3 主管 全日本空手道連盟関東地区協議会・神奈川県空手道連盟
- 4 後援 (予定) スポーツ庁 (公財) 日本スポーツ協会 (公財) 日本武道館 日本武道協議会
神奈川県 (公財) 神奈川県スポーツ協会 神奈川県教育委員会 横浜市
(公財) 横浜市スポーツ協会 横浜商工会議所 (公財) 横浜市観光協会
毎日新聞横浜支局 (一社) YOKOHAMAGOODS 横濱001
- 5 協賛 医療法人イルソーレ (株)チャンプ (株)ミツボシ (株)守礼堂 (株)ケイティディ
(株)フォーム化成 (株)東海堂 (株)ヒロタ (株)東京堂インターナショナル
空手着の尚武 (株)コレモ (株)ヨコブリシ
- 6 場所 横浜 BUNTAI (メインアリーナ・2F 体育室)・横浜武道館 (練習会場 1F 武道場)
住所: 横浜市中区不老町2丁目7番1号 (横浜 BUNTAI) <https://yokohama-buntai.jp>
住所: 横浜市中区翁町2丁目9番10号 (横浜武道館) yokohama-budokan@yspc.or.jp
- 7 日時 令和7年2月14日(金)～2月16日(日)
- 8 受付 (1) 受付は14日(金)13時～17時に横浜 BUNTAI 2階フロアー入口で行う。
(2) 受付では各都道府県に配布する出場選手一覧表データに出欠確認欄を記載して提出する。
※欠席者は欠席届を提出する。
※団体組手選手変更は団体組手選手変更届を提出する。
(3) 受付ではプログラムと記念品を配布する。各都道府県3部・北海道は10部・パーソナルコーチは都道府県登録数分を配布する。
(4) IDカード・ゼッケン及び全少選抜ワッペンは事前に都道府県連盟事務局へ送付する。
(団体組手出場選手分を含む)
- 9 競技日程

14日(金)		15日(土)		16日(日)	
		8:10	入館	8:10	入館
		8:50	開始式	8:50	開始式
		9:15	形競技個人戦 第1ラウンド	9:00	組手3年・4年準々決勝まで
		11:30	形競技個人戦 第2ラウンド	10:00	組手1年・2年準々決勝まで
13:00	団体受付	13:10	昼食	11:00	組手競技 全学年準決勝
		13:45	形競技3位決戦・決勝戦まで	11:20	組手競技 全学年決勝戦
15:00	審判会議	15:00	形競技 団体戦	12:05	組手競技 団体戦
16:00	監督会議	16:40	組手5年・6年準々決勝まで	16:45	組手競技 表彰式
17:00	受付終了	17:45	形競技 表彰式	17:30	閉会式

- 10 種目 (1) 形競技 : 個人戦/1年生から6年生学年別男女別 (12種目)
: 団体戦/男女別3人制 (4.5.6年生の混合を可とする) (2種目)
(2) 組手競技: 個人戦/1年生から6年生学年別男女別 (12種目)
: 団体戦/男女別6人制 (1.2.3.4.5.6年の各学年1名) (2種目)
- 11 参加出場枠 (1) 形競技個人戦 : 各地区協議会から1種目4名選出 (関東・九州は1種目6名選出)

地元枠は、横浜市空手道連盟から1種目1名選出

- (2) 形競技団体戦 : 各地区内の都道府県数分(北海道は4チーム)(例・関東8チーム)
※1チーム4名まで登録を認める
- (3) 組手競技個人戦 : 各地区協議会から1種目4名選出(関東・九州は1種目6名選出)
※地元枠は、横浜市空手道連盟から1種目1名選出
- (4) 組手競技団体戦 : 各地区内の都道府県数分(北海道は4チーム)(例・関東8チーム)
※1チームは6人制・各学年1名×6学年

12 競技規定 公益財団全日本空手道連盟空手競技規定(2023年4月1日初版、新ルール)並びに本大会申し合わせにより実施する。

- 13 競技方法
- (1) 形競技個人戦・団体戦
 - ① 得点方式を採用する。(同点の場合は全日本空手道連盟申し合わせより解決する)
 - ② 形の指定
 - (ア) 第1ラウンドは基本形とする。
 - (イ) 第2ラウンドは、第1ラウンド使用していない基本形または第1指定形とする。
 - (ウ) メダルマッチは、基本形・第1指定形・第2指定形から選択し、第1ラウンド、第2ラウンドで使用した形を繰り返してもよい。
 - (2) 組手競技個人戦・団体戦
 - ① トーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。
 - ② 競技時間は1分30秒フルタイムとする。
 - ③ 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた場合、あるいは反則・棄権・失格、又は競技終了時に得点の多い選手を勝ちとし、同点の場合は「先取」のある選手を勝ちとする。
 - ④ 競技終了時に同点で先取のない場合は、1本の多い選手を勝ちとし、それでも同数の場合は技ありの多い選手を勝ちとする。
 - ⑤ 上記④でも決しない個人戦においては、当該審判団の判定により勝敗を決定し、団体戦においては引き分けとする。
 - ⑥ 団体戦の試合順について1・2回戦は(4・5・6・1・2・3年)とする。
 - ⑦ 団体戦の試合順について3・4回戦は(1・2・3・4・5・6年)とする。
 - ⑧ 団体戦の試合順について準決勝・決勝戦は(4・5・6・1・2・3年)とする。
 - ⑨ 団体戦代表決定戦について、4年・5年・6年の学年生を大会実行委員会が抽選通告し、その学年で団体戦代表決定戦を実施する。
 - ⑩ 団体戦において、初戦は勝敗が決しても6人全員が競技する。
※1回戦より6名全員出場が望ましいが、欠員2名までは出場を可とする。
※チーム内の欠員について、大会に出場している同地区協議会内選手への変更は可とするが、一人の選手が複数のチームから出場することは出来ない。また、**選手の登録変更をする場合は大会受付時(14日金)に選手変更届を提出すること**。
 - (3) 組手安全具は(公財)全日本空手道連盟承認の承認品を使用しなければならない。
 - ① リバーシブル拳サポーター(赤・青)、メンホーVII、ボディプロテクター、インステップ・シンガード(白色)を装着すること。
 - ② 3年以上の男子組手選手は、セーフティカップを装着する。(1・2年生は任意)
 - (4) 地区協議会代表監督・都道府県監督・都道府県コーチ・パーソナルコーチについて
 - ① 地区協議会代表監督は1名とし、都道府県監督を兼務することが出来る。
 - ② 都道府県連監督は1名とし、都道府県コーチの登録人数は任意とする。
 - ③ パーソナルコーチは登録選手と同期し、他の選手のコーチは不可とする。
 - ④ 監督・都道府県コーチ・パーソナルコーチは常にIDカードを携帯する。

- ⑤ 監督・都道府県コーチ・パーソナルコーチは、審判員との区別がつく地味なカジュアルフォーマルを着用のこと。※16の参加資格を参照のこと。
- ⑥ 監督・都道府県コーチは、全空連ネクタイ（紺色）を着用すること。

14 表彰 スポーツ庁長官賞の授与について

男女別に総合得点最上位の地区協議会に対し、スポーツ庁長官賞を授与する。
得点及び順位決定は次による。

(1) 国民スポーツ大会方式に基づき、各種目の入賞者に次の得点を付与する。

【団体戦】

- 1 組手競技 1位 40点 2位 35点 3位 30点 (2チーム) 5位 12.5点 (4チーム)
- 2 形競技 1位 40点 2位 35点 3位 30点 (2チーム) 5位 15点 (2チーム) 7位 10点 (2チーム)

① 団体戦の得点は、地区協議会を構成する都道府県数をもって調整する。
例: 関東・九州=40点×4/8=20点、東北・近畿=40点×4/6=26.6点
北信越・中国=40点×4/5=32点、東海・四国・北海道=40点

【個人戦】

- 1 組手競技 1位 8点, 2位 7点, 3位 5点(2名), 5位 2.5点(4名)
- 2 形競技 1位 8点, 2位 7点, 3位 5点(2名), 5位 3点(2名), 7位 2点 (2名)

(2) 総合得点と同点の場合は優勝者数の多い地区協議会を上位とする。
(3) さらに同点の場合はすべてを同点優勝とする。
(4) ベスト8以上の選手を表彰する。

- 15 審判員 審判員は、公益財団法人全日本空手道連盟公認審判員により編成する。
- (1) 本大会は8コートでの開催とし、83名の派遣審判員で構成する。
 - (2) 各都道府県は、全国組手審判員及び地区形審判員以上の資格を有する審判員を1名または2名派遣する。(北海道は地区連として4名派遣とする)
 - (3) 派遣審判員に不足が発生した場合、不足した都道府県の所属する地区協議会に補充を求める。
 - (4) 上記にかかわらず、大会審判員に不足を生じた場合は、関東地区協議会内の審判員を補充する。
- 16 安全管理
- (1) 選手は、各自の責任において健康診断を受け、医師の出場許可を受けておくこと。
 - (2) 選手は、各自必ずスポーツ保険に加入し、健康保険証を大会会場に携帯すること。
 - (3) 出場選手が競技中負傷した場合は、主催者において応急処置をするがその後の責任は負わない。
 - (4) 主催者において、大会期間対象の傷害保険に加入する。
- 17 参加資格
- (1) 出場選手・監督・都道府県コーチは、(公財)全日本空手道連盟会員であること。
 - (2) 監督及び都道府県コーチは、(公財)日本スポーツ協会公認空手道コーチ1以上、または地区組手審判員以上の資格を有する者であること。
 - (3) パーソナルコーチの登録において資格の条件を求めないが、(公財)全日本空手道連盟会員登録を必須とする。
(例・兄弟で選手参加する場合、父親は兄・母親は弟のパーソナルコーチ登録を可とするが、両親はそれぞれに全空連会員登録をし、またそれぞれにパーソナルコーチ登録料金を納めることを必須とする。)
 - (4) パーソナルコーチの登録において(2)の資格保有者はパーソナルコーチA登録とし都道府県コーチ同様にコーチ席(BOX)に入ることが出来る。また資格を保有しないパーソナルコーチはB登録としコーチ席には入れない。B登録者は選手後方に席を設置する。
 - (5) 個人戦出場選手は、各地区協議会が選出した代表選手であること。
 - (6) 団体戦は地区協議会内、都道府県単独チーム又は、混成チームで構成する。
 - (7) 出場選手は全空連段位または級位を保有していること。

- 18 費用 (1) 個人戦 (形・組手) 1種目 1人 8,000円
 (2) 団体戦 (形) 1種目 1チーム 20,000円
 (組手) 1種目 1チーム 30,000円
 (3) パーソナルコーチ登録費 1人 2,000円

※地区協議会代表監督、都道府県監督、都道府県コーチの登録は無料とする。
 ※都道府県コーチは都道府県連内の複数の選手に対しコーチの登録が出来る。
 ※パーソナルコーチは登録選手 (個人・団体形) と同期し、複数の登録は不可とする。
 ※納入後の出場費と登録費の返金は不可。

- (4) 申請方法 (参加申込)

関東地区協議会 第4回全日本少年少女空手道選抜大会申込み窓口 宛
 参加申込データの請求及び参加申込データの送付先
 富士ソフト企画(株) E-mail: zenshosenbatu@fsk-inc.co.jp

- (5) 参加費納入先 口座名 神奈川県空手道連盟

【金融機関名】 ゆうちょ銀行 【店名】 098 (ゼロキュウハチ)
 【口座番号】 0747350 【種別】 普通
 【口座名義】 カナガワケンカラテドウレンメイ

※振込の際は、振り込み確認表 (別紙) に内容を記載し都道府県毎に提出のこと。

- 19 申込方法 (1) 個人戦と形団体戦の申し込みは都道府県毎に申込シートを記載し提出のこと。
 (2) 組手団体戦の申し込みは地区協議会毎に申込シートを記載し提出のこと。

- 20 申込期間 2024年11月15日 (金) ~ 11月29日 (金) とする。

- 21 宿泊等 (1) 宿泊・交通費は自己負担とする。
 (2) 宿泊・弁当は大会主催団体の指定する下記の旅行会社を通して予約をすること。

(株) ジェイフェスト
 〒236-0016 神奈川県横浜市金沢区谷津町 308-106
 045-355-0238 担当者 西田剛幸 090-7172-1333
 Email joyfesto@gmail.com

- 22 広告募集について (A4版・140ページ・2,500部の印刷を予定)

A4版1ページモノクロ	100,000円	A4版1/3ページモノクロ	30,000円
A4版1/2ページモノクロ	50,000円	A4版1/4ページモノクロ	20,000円

※A4版1ページカラーご希望の場合は150,000円となります。

- 23 広告申込 (1) 別紙、広告協賛同意書と広告原稿を下記へ①へ送付して頂き、②協賛金の振り込みをお願い致します。

① 富士ソフト企画(株) E-mail: zenshosenbatu@fsk-inc.co.jp

② 【金融機関名】 ゆうちょ銀行 【店名】 098 (ゼロキュウハチ)
 【口座番号】 0747350 【種別】 普通
 【口座名義】 カナガワケンカラテドウレンメイ

- 24 問い合わせ先

○庶務問い合わせ
 神奈川県空手道連盟 事務局長 吉本 秀之
 E-MAIL: jimukyoku.kanagawakarate@gmail.com
 ○ルール上の問い合わせ
 神奈川県空手道連盟 審判部会長 水谷 暢孝
 E-MAIL: k-sindo@zj9.so-net.ne.jp

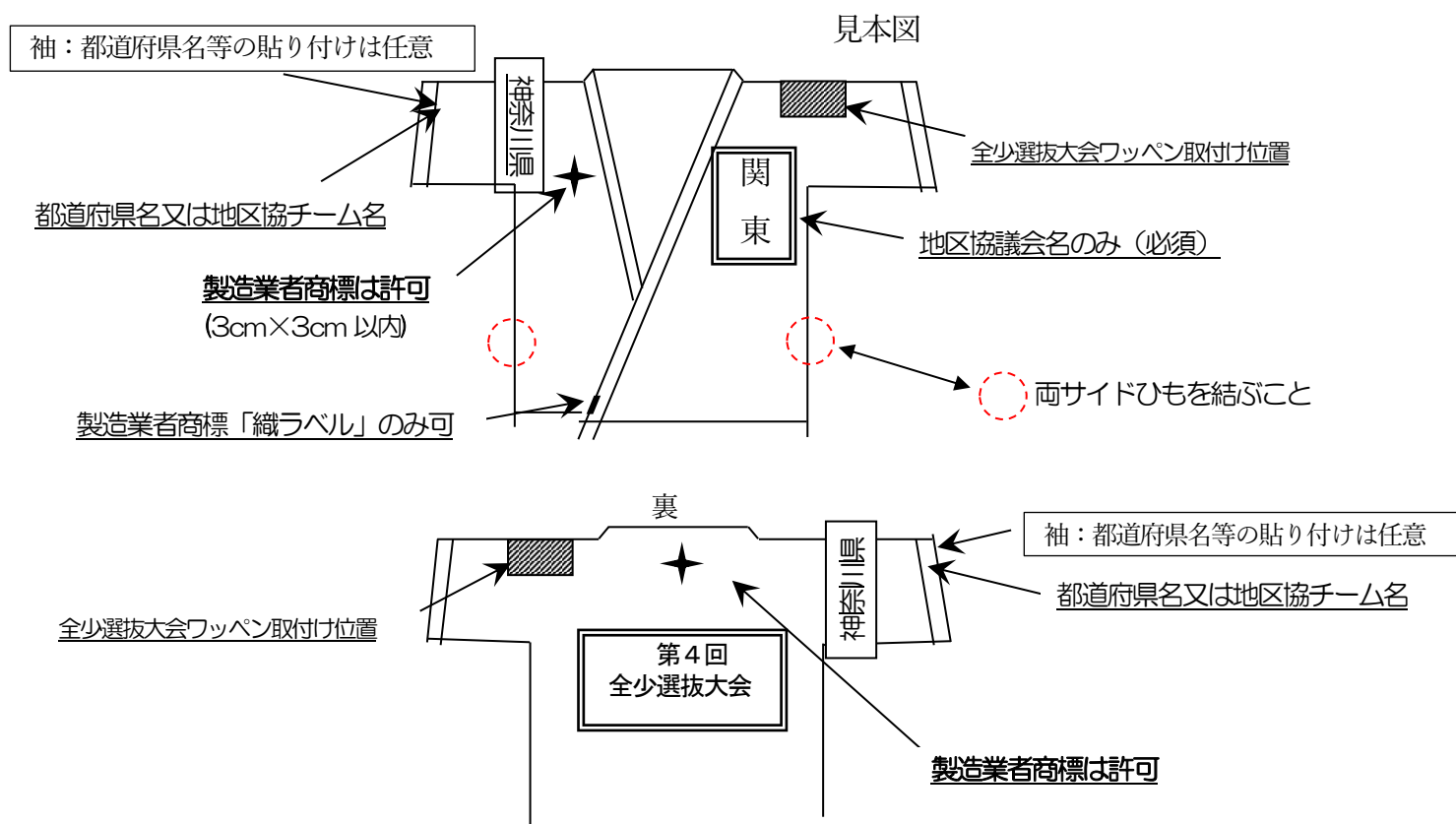
25 肖像権について

本大会は、大会の様態をインターネットのライブ配信を予定している。関係者にもその案内を出すことを予定している。これらの事情から、肖像権の取り扱いについて下記の通りとする。

- (1) 公益財団法人全日本空手道連盟が認めたライブ配信事業者等によって撮影された映像が、中継・録画映及びインターネットにより配信されることがある。
- (2) インターネットのライブ配信に際して、個人情報(氏名、所属など)、大会記録等を公表することがある。
- (3) 本大会申し込みにより、上記(1)(2)の取り扱いに関する承諾をいただいているものとして対応する。
- (4) 訂正などを希望される場合は、本人であることを確認したうえで、公益財団法人全日本空手道連盟の定める書面の提出または公益財団法人全日本空手道連盟ホームページからお問い合わせフォーム(<https://www.jkf.ne.jp/contactus>)により対応に応じる。

選手の服装について(ゼッケン・全少選抜ワッペン・都道府県ワッペン・地区協胸ワッペン)

空手着の製造業者商標のラベルの表記については、製造業者が上衣の裾表側、ズボンの表側(左右どちらか)にはじめから付けられた「織ラベル」は可。今大会で指定された以外のワッペン、刺繍等は一切認めない。※各流派のオリジナルラベルは認める。



- 1.ゼッケンは背中に、全少選抜ワッペンは「左肩口」、都道府県名(地区協チーム名)は「右袖」、胸の地区協議会名は見本図の様に必ず縫い付けてください。
2. 胸の地区協議会名のサイズは「縦15cm×横10cm」です。
3. 上記の以外は如何なる表示も認めません。

以上、厳守をお願い致します。

注意事項

- (1) 選手登録受付について (記念品・パンフレットの配布)
 - ① 令和7年2月14日(金) 13時~17時 BUNTAI 2Fフロアー
※受付では各都道府県に配布する出場選手一覧表データに出欠確認欄を記載して提出する。
- (2) 練習会場について (入場制限あり)
※選手及びパーソナルコーチ・都道府県コーチのIDカード所持者のみ入場を可とする。
 - ① 令和7年2月14日(金) 13時~17時 横浜武道館武道場(1F)
 - ② 令和7年2月15日(土) 8時30分~17時 横浜武道館武道場(1F)
 - ③ 令和7年2月16日(日) 8時30分~15時 横浜武道館武道場(1F)
- (3) メインアリーナ・練習会場の入退場の制限(入退場の規制)について
 - ① パーソナルコーチは選手と同時に入場し同時に退場をする。(パーソナルコーチの単独入退場は不可)
 - ② 都道府県コーチは選手と同時に入場し同時に退場をする。
 - ③ ②とは別に、各都道府県2名までは個別(選手同伴無し)にアリーナに入場出来る
 - ④ 北海道のみ地区登録として4名まで個別(選手同伴無し)にアリーナに入場出来る
 - ⑤ 上記はIDカードバーコードチェックによる認証をし、厳格に規制する。
- (4) 会場での飲食について
 - ① メインアリーナ及び練習会場へのペットボトル等の持ち込みの際はカバーをすること。
 - ② 観客席及びBUNTAI施設を利用したの飲食を可とする。
- (5) 会場での注意事項(関係各位)
 - ① BUNTAI メインアリーナでの団旗の貼り付けを許可制とする。(別紙広告協賛の募集を参照)
 - ② 個人で靴袋を用意し土足の管理をする。(メインアリーナマット部分及び練習会場での土足を禁止し、メインアリーナマット外の床部分と練習会場以外の場所での裸足を禁止する。)
※入場行進する選手はゲート選手待機所より裸足で入場する。(靴袋の用意を必須とする)
 - ③ 会場付帯の電源の使用を禁止する。
 - ④ 横浜市は喫煙禁止地区であり、施設内外に喫煙所無し。(関内駅横喫煙スペースのみ喫煙可) 歩きタバコは罰則(過料2,000円)の対象となるので注意のこと。
- (6) 更衣室について
 - ① 選手は横浜武道館内指定の更衣室を使用する。
 - ② BUNTAI 及び横浜武道館内の付帯するシャワー室の使用を禁止する。
- (7) 組合せ抽選会の結果は令和6年12月下旬に神奈川県空手道連盟のホームページに掲載予定。
(選手のゼッケンは年明けに都道府県連盟事務局に送付予定)
- (8) アクセス 公共交通機関 ○JR京浜東北/根岸線 関内駅南口下車 徒歩6分
○横浜市営地下鉄 伊勢佐木長者町駅下車 徒歩4分 関内駅下車 徒歩8分



全日本少年少女空手道選抜大会

アリーナ内入退場管理（パーソナルコーチ導入）について

第4回全日本少年少女空手道選抜大会では、下記のパーソナルコーチを導入した入退場管理を実施します。

<入退場管理>

①パーソナルコーチと監督について

選手1名につき1名の登録が可能

※コート内では選手のサポートをおこなう



パーソナルコーチ

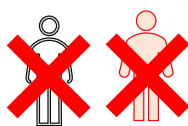
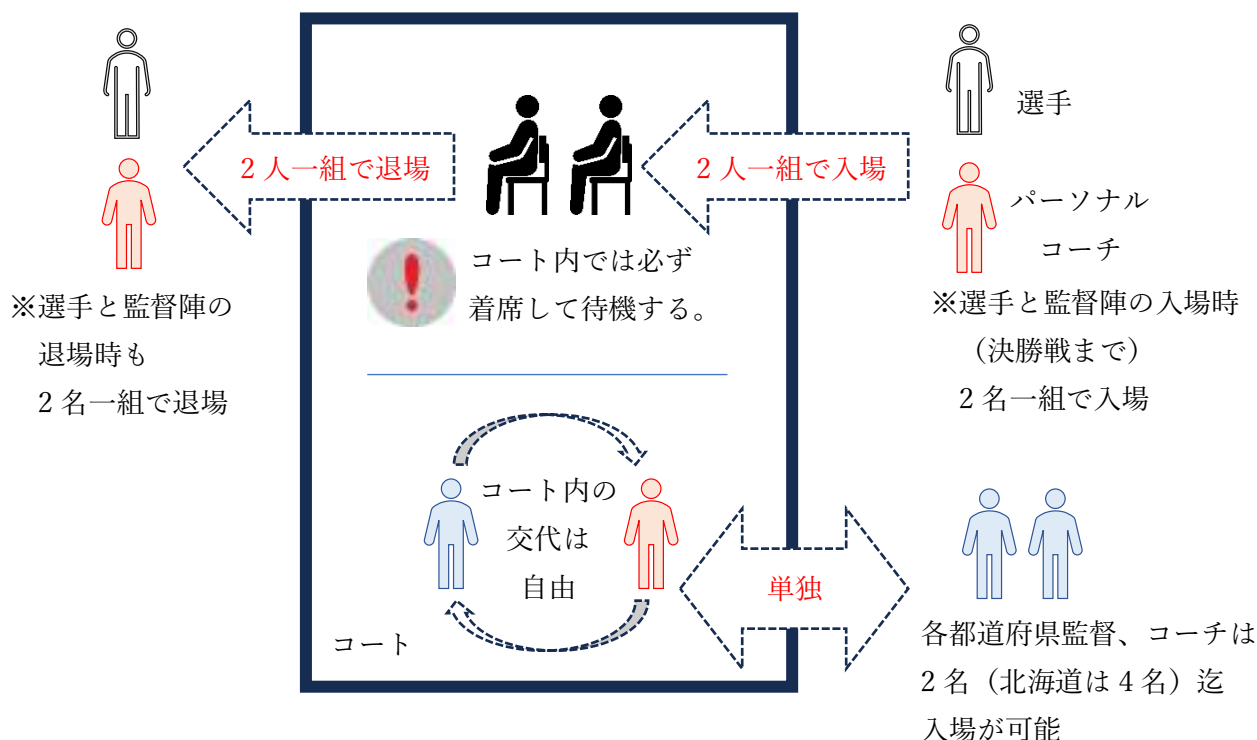
各都道府県監督、コーチは2名（北海道は4名）迄の入場が可能



監督陣（地区協議会代表監督、都道府県監督、コーチ）

※パーソナルコーチ、監督陣（地区協議会代表監督、都道府県監督、コーチ）のいずれも全空連の会員登録が必須

②アリーナ内の入退場管理



※選手、パーソナルコーチの単独退場は不可



※パーソナルコーチ同士の交代は不可

※アリーナ内の滞留者については、本部で常時確認しています。

競技の終了後、パーソナルコーチがアリーナ内に留まらないようお願い致します。

③入場管理に使用する ID の種類

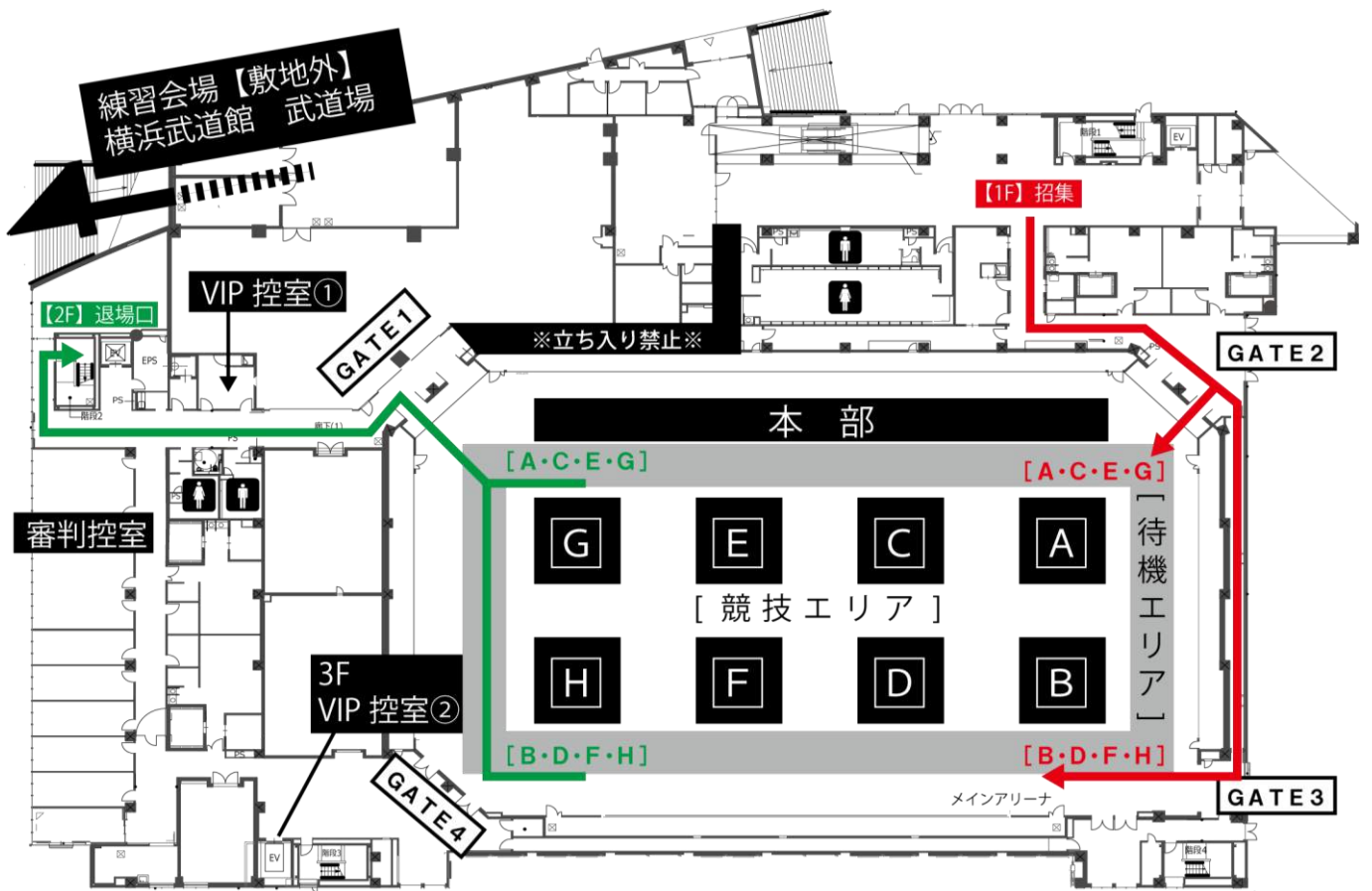


<会場内の動線>

横浜 BUNTAI での動線を、以下に記載します。

大会運営に御協力をお願い致します。

※「パーソナルコーチ B」は待機エリアまでの入場とし、競技エリアには入れません。



以上